

21 国内産糖・いもでん粉産地緊急構造改革支援事業

【1,090(1,097)百万円】

対策のポイント

さとうきびやでん粉原料用かんしょの生産の安定化を図るため、さとうきびの機械化一貫体系の整備やかんしょでん粉工場の衛生高度化等を支援します。

<背景／課題>

- ・さとうきび及びでん粉原料用かんしょは、沖縄・南九州地方の畑作農業を支える基幹作物であり、国産糖・いもでん粉製造業と合わせ、地域の産業・経済を支える重要な役割を果たしています。
- ・しかしながら、最近、農業者の高齢化等により生産力が低下しており、地域農業及び関連製造業者の構造改革が急務となっています。

政策目標

- 肥料等の生産資材の上昇が続く中、さとうきびの生産コストを20年度の水準に維持
- 国内産いもでん粉の販路を拡大し、市場評価の高い用途への販売を1割増加

<主な内容>

1. さとうきび安定生産確立対策事業

さとうきび産地において、効率的かつ持続的なさとうきびの生産体制を確立するため、ハーベスタ等の導入による機械化一貫体系の整備等を支援します。

さとうきび安定生産確立対策事業 300(0)百万円
補助率：6/10以内
事業実施主体：民間団体

2. 国内産糖・いもでん粉供給円滑化事業

かんしょでん粉の加工食品用等への販路拡大やいもでん粉工場周辺環境の保全と製造コストの削減を図るため、製造工程・乾燥工程等における衛生面の強化や排水貯留設備の能力増強等に資する施設の整備を支援します。

国内産糖・いもでん粉供給円滑化事業 790(1,097)百万円
補助率：定額、1/2以内
事業実施主体：農業者団体、事業協同組合

お問い合わせ先：
生産局生産流通振興課(03-3501-3814(直))

国内産糖・いもでん粉産地緊急構造改革支援事業

課題

対策の内容

事業実施後

さとうきび

○さとうきびは台風・干ばつの常襲地帯である沖縄・鹿児島県の島しょ部における基幹作物
○農家の7割以上がさとうきび栽培に従事
○普通畑の5割以上でさとうきびを栽培

しかし・・・

零細規模の農家が多数を占め、高齢化と相まって生産構造が脆弱化

収穫面積が徐々に減少

H元年産 3.4万ha → H15年産 2.4万ha → H20年産 2.2万ha

担い手と高齢者等が共同して効率的かつ持続的な生産体制を再構築することが必要！

機械化一貫体系の確立による軽労化・低コスト化や気象災害に強い生産基盤の整備による単収の安定化を支援

・小型ハーベスタの導入
・点滴かんがい設備の設置 等



新たな生産体制

現状



将来



担い手の作業能力が向上！
重労働は担い手に委託でき生産性が向上

さとうきびの安定的な
生産体制を確立

でん粉原料用かんしょ

南九州地方の基幹作物であるかんしょの安定生産には、車の両輪であるでん粉工場の経営安定が必要不可欠

しかし・・・

製造ラインの衛生管理が不十分のため、かんしょでん粉の販路が限定

国内産かんしょでん粉の生産量が減少
(H10年産9.3万トン → H20年産4.5万トン)

実需者ニーズに対応した高品質でん粉の生産が必要！

でん粉工場の衛生高度化による、でん粉の高付加価値化・低コスト化を支援

・高速遠心分離機の導入
・同時乾燥施設の整備 等



国産かんしょでん粉の新たな販路確保

現状

価格の低い
糖化製品



将来

高価格な
菓子・食品用



市場評価の高いでん粉の製造！
糖化用から菓子・食品用に販路拡大

国内産いもでん粉の生産安定化